

BEA VOICE

家入レオ

家入レオのために書かれた、
家入レオにしか歌えない曲。

LIVE

家入レオ 7th Live Tour 2019 ~DUO~

7/13

福岡サンパレスホテル&ホール

7/14

諫早文化会館(長崎)

06

No.481 June 2019

The music magazine
that charms you.

INTERVIEW

go!go!vanillas

ロックバンド然たる姿勢を
純度100%で示した4thアルバムが完成。

中村あゆみ

イントロであの頃が甦えるライブに。

LIVE REPORT

CIRCLE '19

多様であり自由であり、深遠な物語がある。
奇蹟を呼んだCIRCLE真骨頂の響宴。

家入レオ

家入レオのために書かれた、家入レオにしか歌えない曲。

取材/文: なかしまさおり



写真プレゼント
応募方法はP.11をチェック!

今年2月にデビュー7周年を迎えた家入レオ。4月17日にリリースしたオリジナル・アルバム「DUO」には、前作「TIME」以降に発表した2枚のシングル・タイトル曲「もし君を許せたら」(ドラマ「絶対零度」未だ犯罪潜入捜査)「主題歌」(「この世界で」(アニメ映画「ゴッドギアス 復活のルルーシュ」オープニング主題歌のほか、King Ginn 常田大希提供による「Overflow」)やポップ・ソングの名手、木村友威との共作「Bicolor」、相対性理論・永井聖一作詞作曲による「Neon Nights」など、実に多様な表情を魅せる全12曲が収録されている。

中でもリード・ナンバー「Prime Numbers」は、現在放送中のテレビ朝日系4月木曜ドラマ「緊急取調室」の主題歌にもなっており「この曲が完成したことで(アルバム全体としての)輪郭や色合いがはつきりしてきた」と振り返る。ドラマでは、取調室における容疑者との心理戦が主軸となるだけに、まずは「自分自身の中にあるペルソナを探っていくこと」から作曲りをスタートさせたのだという。その中で思い当たったのが、昨春にライブを通じて初めて会った松任谷由実からの「あなた素数ね。どこにいても馴染めないでしょう?」という一言だった。素数とは、1とその数字自身でしか割り切れない特別な自然数のことを指すが、女優やモデルのように、パッと見で分かる素数感(「周囲から受け取られる感じが、なんとなく周りに溶け込めない、馴染めてない」という、家入が幼少期から抱えてきたという、現象に「よくやく名前を貰った気がして、とても不思議な安心感を覚えた」のだという。

「私は私であっていいんだなって、すごく勇気を頂きました。ただ、そういう、目には見えない素数感を抱えている人って、実は私だけじゃないんじゃないかなって思ってた。結局、人はみな、どこか、どこかだけ言葉を尽くして、その重なる、完璧に感覚を共有することは不可能で、孤独で、そういう想いを作詞家の松尾潔さんにお伝えして、より(私が)想い入れを持って歌えるように仕上げて頂きました。」

思えば2昨年、初めての日本武道館公演を機に、自我を捨て、アルバム「TIME」では、その反対側にある、普遍を歌うことに徹していた彼女。本作では「転、再び、自我」と徹底的に向き合い、濃厚な世界観を作り上げている。

「確かに「TIME」では普遍的な自分になりたかった。リスナーのみんなの日常生活に寄り添えるような曲を作りたい、ということ、自我を捨てることがテーマになっていました。でも、そのツアーの中で、あれ?私って、私にしか歌えない曲を求められているのかな、と思った瞬間があった。だったら、次はそれを真ん中に置いてやってみるのもいいかな。だから、むしろこのアルバムには、自我しかない、と言っているかもしれない。ただ(前作とは)対極だからこそ、面白い化学反応が生まれていると思うし、そこからタイトルも「DUO」とすることにしました。」

DUOは、二重奏。それこそ、楽曲と彼女の二重奏。聴いてくれるリスナーと彼女の二重奏。そこには、さまざまな関係性が重ねられると思うが、とりわけ、アーティスト/クリエイターと彼女の二重奏においては、過去最高に濃くて深いのではないだろうか。

「私の場合、歌を歌うと、そこに描かれている主人公の姿形、趣味嗜好にまで(自分が)寄りついてしまうところがあるんです。そこに描き出される感情の喜怒哀楽が、自分の体験と結びつくというか、ただ、それを、演じる、と表現すると、ちょっと語弊があつて、役者さんなら自分の中に無いエッセンス、でも、役として演じると思っていますけど、私は共感出来ない感情が少しでもあつたら歌えないんです。だからこそ、皆さんに、オーダーメイドで曲を書いて頂く、という

家入レオ(イエイリレオ)は1994年12月13日生まれ、福岡県出身。12年2月にシングル「サブリナ」でメジャーデビュー。17年4月には自身初の日本武道館公演を開催。「JIKU」を鳴らしているのは小谷美紗子(Pf)、玉田豊夢(Dr)、山口寛雄(Cb)による「小谷美紗子Trio」に加えて、田淵ひさ子がギターで参加。「布陣もすべて小谷さんにお任せしていて、田淵さんの歪みっぽいエレキ(ギター)が合うと思うんです」と提案頂いたの「是非!」とお願いしました。青春時代に聴いていたバンドの方が、まさか自分の曲でギターを弾いてくれる日が来るなんて!と思うと、不思議な気持ちになりました。ちなみに「サザンカ」では家入自身がギターで参加し、「小谷美紗子Trio」とスリリングなセッションを繰り広げているので、そこも注目してほしい。 <http://leo-ieiri.com/>

うことには、とても意味があるんだろうなと改めて思っています。」

まさに、彼女のために書かれた、彼女にしか歌えない曲。でも、一方的に、オーダー(発注)するのではなく、「自分の人生の中でいいな、素敵だと思った人や音楽に対しては、ちゃんと自分の足で会いに行く。自分の言葉で想いを伝えたいと思うんです。(やり方としては)泥臭いのかも知れないけれど、作品を素敵にしているためにはそういうことが一番大事なことだと思うから、そこは変えたくないですね。」

そんな二重奏の中でも極めて強い光を放っているのは、やはり昨年のツアーでドラムを務めた玉田豊夢を紹介し出会った小谷美紗子との2曲だろう。

「小谷さんって、お会いすると小柄で子どもみたいな、誰もが心を掴まれるような声で笑うのに、使っている言葉は辛辣だったり厳しかったりして、そのギャップがとても素敵だなと思うんです。それで、曲を書いて頂く前にいろいろとお話をする中で私が、小谷さんって、黄色い幼稚園バッグの中からナイフを出すような人ですよ。そのエッセンスをそのまま下に下さいとお伝えして出来上がったのが「JIKU」でした。「サザンカ」は私と母の実際のエピソードが元になっていて、小谷さんにはアレンジをお願いしました。かつての私がそうだったように、血の繋がりが、その呪縛に囚われて辛い思いをしている人がいるかもしれない。でも、その人にとっての一番いいタイミングは必ずどこかで訪れるから、誰かを愛することを急がなくてもいいんじゃないかなって、そういう思いを込めて、(年齢や距離を経た)。今の自分だからこそ言える言葉を一生懸命探して書き上げました。」

5月にスタートした全国ツアーは全20公演を予定。

「実は去年「TIME」のツアーを演じていく中で、過渡期ですね。」と言って頂けることがとても

も多くて、でも、自分では何が過渡期なのかよく分かっていなくて。ようやく、去年の暮れになって、ホントだ。私、変わり始めている、という実感が出てきたんです。つまり、変わろうと思っていないのに変わっている。それって、純粋な進化、なんじゃないかなって。それこそ10代でデビューした頃はある意味、責任を感じて歌っていたところもあるんですけど、今はそれを、仕事だとは思わなくなってきた。生活というか、人生というか。そこが自分にとっては一番だと思うので、この素敵なアルバムを是非、ライブで直接聴いて頂いて、皆さんと私の、DUOが生まれる空間にしていけたらと思っています。もちろん、ライブに来るのが初めてですという人も、たくさんいらっしゃると思うので、その方々にもちゃんと届けられるようセットリストを組みました。ぜひ、楽しみにして来て頂けたらと思います!。」

LIVE 家入レオ 7th Live Tour 2019 ~DUO~

※詳しくは「BEA WEBサイト」をご覧ください。

7/13 福岡サンパレスホテル&ホール
7/14 諫早文化会館(長崎)

New Album NOW ON SALE

DUO

ビクター/Colourful Records 通常盤 ¥3,240 (tax in)

- | | | |
|------------------|----------------|-------------|
| 1. Prime Numbers | 5. Bicolor | 9. Spark |
| 2. 愛してないなら | 6. Whenever | 10. Bouquet |
| 3. Overflow | 7. Neon Nights | 11. この世界で |
| 4. もし君を許せたら | 8. JIKU | 12. サザンカ |





写真プレゼント
応募方法はP.11を参照！

中村あゆみ

イントロであの頃が甦えるライブに。

取材／文：荒木英吾

80年代から90年代にかけて、女性ロックシンガーの代表的存在としてシーンに君臨した中村あゆみ。結婚や出産などで一時活動を休止していた時期もあるが、04年に復帰を果たし、地道な活動で自らの歌をファンに届けてきた。

そんな中村あゆみの伝説的ライブ「AYUMI DAY」が、デビュー35周年の今年、復活する。'85年8月31日に行われたレベッカとのジョイントライブをきっかけに、8月31日「AYUMI DAY」と銘打ち、その後10年に渡り日本武道館や横浜アリーナで開催されたスペシャルなライブ。宿題なんて忘れちゃえ！をテーマに、この日多くのファンが彼女の元に集った。

「8月31日って夏休み最後の日で、みんな憂鬱になりますよね。でも、私のファンにはそうなくてほしくなくて。だから、ライブまでに宿題を済ませてもらう。当日は目一杯楽しんでもらう！そんな特別な日にしたかったんです」

今回の「AYUMI DAY」は東京・大阪・福岡の3カ所で開催されるが、本来の8月31日に行われるのは彼女の故郷でもある、ここ福岡。会場となる都久志会館には、こんなエピソードがあるそう。

「デビューして福岡で初めてのコンサートが都久志会館でした。最初はもっと小さな会場で演る予定だったんですけど、チケットが完売した後も問い合わせが殺到したみたいで。この間、久しぶりに行ってみたら、あまり

LIVE 詳しくは「BEA WEBサイト」をご覧ください。

JID GROUP PRESENTS
中村あゆみデビュー35周年 ROCK ALIVE 2019
'AYUMI DAY SPECIAL' in FUKUOKA
8.31(土) 福岡 都久志会館

中村あゆみ(ナカムラアユミ)
'84年9月、シングル「Midnight Kids」でデビュー。翌年リリースした「翼の折れたエンジェル」がCMソングに抜擢されて大ヒット。ハスキーでパワフルな歌声とともに、その名は全国区に。またエネルギー溢るライブパフォーマンスでも人気を集め、女性ロックシンガーの頂点に立つ。'99年、出産のため音楽活動を休止。'04年に復帰し、ガムシャラながらも彼女らしく歌い続け、現在に至る。
http://ayumi-nakamura.com/

デビュー35周年を記念し、ハミングバード/ワーナー時代の初期13作品を【35周年記念 2019 Remaster】として、令和元年5月11日より13週連続で配信(初ハイレゾ配信も同時解禁)。
この13曲で「AYUMI DAY」完全攻略間違いなし！
▶ https://wmg.jp/nakamura_ayumi/



New Album
THE WORLD
ビクター/Getting Better
5.15 ON SALE



写真プレゼント
応募方法はP.11を参照！

go!go!vanillas

ロックバンド然たる姿勢を
純度100%で示した4thアルバムが完成。

取材／文：里中暁

メジャー進出から5年目に突入した昨年、大きな心境の変化に直面し、ロックバンドとしてやるべきこと、いくべき方向を見出したgo!go!vanillas。クリアになった視界で、まっすぐ先を見据えて挑んだ4thアルバム『THE WORLD』は、耳馴染みのいいポップを纏いながらも、1曲1曲が強いメッセージを放つ一枚に完成した。牧達弥(Vo.Gt)が、気持ちの変化を振り返る。「ロックバンドとしてちゃんと、社会に対して沸々とした意思をぶつけられているか、それを去年一年くらいで考え始めたんです。それこそバンドを始めた時は楽しければ良かったけど、長く続けるのが物足りなくなってきた。例えばライブ後の達成感や作品の満足度でも、付加価値をつけていかないと納得できなかったり。やっぱ大人になったのかな(苦笑)。だって死んでも作品は残るから。残るなら大切にしないと、って。考える。作業をすこすこするようになりまして。」

とは言っても制作が慎重になることはなく、むしろ振り切った盛りだくさんの『THE WORLD』を展開してみせた。「No.999」の、言いたいことを言う感覚がすこく気持ちが良くて、これが自分としては一番ラクな方法のようになってしまったんです。だからいつもより歌詞に困らなかつたし、言いたいこともたくさん言えました。ロックバンドは、もともとカウチャー・カルチャーとして、それ、おかしくない？って問題提起する時代の代弁者だったけど、最近のバンドは、音楽を楽しむで終わってしまっている印象が強い。もっとムーブメントとなるものを作りたいからって、みんなが注目する「言葉」の精度を研ぎ澄ませて、珍しく詰めまくりましたね。聞きやすさとは逆行しているけど、でもさあ、姿勢が支持される時代がきつとくる。しつかり世に意見を放てるバンドが生き残っていくと願いますね。

LIVE!
詳しくは「BEA WEBサイト」をご覧ください。

go!go!vanillas
THE WORLD TOUR 2019
6.1(土) 熊本B.9 V1
6.2(日) **SOLD OUT!** 長崎DRUM Be-7
10.14(月・祝) 福岡Zepp Fukuoka

言葉が描き出すことは「一切なかった制作。どんな魂を込めた」という自身を突き動かす言葉は、時に、当たり前なんてない。と言いつつ、敵に塩を送れ」と攻撃的な一面も見える。躍動するポップなサウンドとの異なるコントラストは、聞く者に強烈な余韻を残す。「強気です(笑)。今は、君は大丈夫だよ。という曲が多くて、結局頑張りなやまを生きていけないの、それじゃダメだ。たまた、表現をオーバーにしたくらいの方が伝わるかなって。人とぶつかることを避けがちな世の中だと、メンバーがいて、人と対面してライブをしている俺らだからこそ、ちゃんと、人の根底にあるものはやっぱり美しく、これって人と関わらないとできないことだよ。って歌えたいと思う。よーンティーンなメッセージに刺れてもらいたいです。」

新境地で次に挑むのは、地元大分から始まったツアー。交通事故による怪我の治療のため療養中の長谷川プリティ歌祐(Ba)が演奏したレコーディング音源のヘイストと共に、生でその思いを届けている。「プリティは復帰に向けて頑張っています。個人的にもちよと、当たり前なんてない！って気持ちで使命感を考えたので、試されている感じはしましたね。だからこそ、3人でも強いパフォーマンスができることを証明したいし、見てもらいたいです。」

go!go!vanillas (ゴーゴーパーニラス)
牧達弥 (Vo.Gt)、長谷川プリティ歌祐 (Ba)、ジェットセイヤ (Dr)、柳沢進太郎 (Gt) からなる新世代ロックンロールバンド。'13年に1stアルバム『SHAKE』をSEEZ RECORDSよりリリース後、翌年発表のアルバム『Magic Number』でメジャーデビュー。ライブバンドとして各地で動員を伸ばす中、昨年12月に長谷川が事故に遭い、現在はリハビリに専念。事故前に収録した最新アルバム『THE WORLD』を5月にリリースし、全国ツアーを開始。追加で発表された10月からの公演は長谷川の参加も予定している。
<https://gogovanillas.com/>

ASIAN KUNG-FU GENERATION

TOUR 2019
「ホームタウン」



7.12 fri 福岡サンパレスホテル&ホール

OPEN 18:00 START 18:30 全席指定 ¥6,000

※3歳以上チケット必要(児童の耳を大音量から守る為、お子様連れのお客様はイヤーマフ等のご持参をお願いします)

高校生以下対象 字割あり 小学生/中学生/高校生の方は会場にて¥1,500 キャッシュバック致します。
中学生/高校生は学生証を、小学生は年齢を証明できるものを所持下さい。
※キャッシュバックは当日、会場に来られた方に限ります。
※当日、学生証をお持ちにならなかった方へはキャッシュバックは致しません。

TICKET NOW ON SALE Lcode 82818 / Pcode 136-827 / e+

8.3 sat OPEN 16:30 START 17:00
福岡国際会議場メインホール

8.4 sun OPEN 16:30 START 17:00
コンパルホール [大分]

8.30 fri OPEN 18:30 START 19:00
くまもと森都心プラザホール

全席指定 ¥6,500
※3歳未満入場不可 / 3歳以上子チケット必要

TICKET NOW ON SALE
Lcode 82189 / Pcode 137-172 / e+

LOVE PSYCHEDELICO

Premium Acoustic Live
"TWO OF US" Tour 2019



EGO-WRAPPIN'

「Dream Baby Dream」リリースツアー

8.3 sat CAPARVOホール [鹿児島]

8.24 sat DRUM LOGOS

8.25 sun 熊本B.9 V1

OPEN 17:00 START 18:00
スタンディング ¥6,000 (ドリンク代別)

TICKET NOW ON SALE
Lcode 83364 / Pcode 147-864 / e+



【ピーポイス】

家入レオ

BEA VOICE 6月号 vol.481 2019年6月1日発行 毎月1日発行 1980年10月7日第三種郵便物認可 発行株式会社ビジュアルファームズ (BEA) 〒810-0022 福岡市中央区薬院2-10-10 tel 092-712-4221 fax 092-715-0463
Publisher: 北星堂 Editorial Staff: 栗原直子 三崎千恵子 井上美知子 Art Director: 安岡文治 (SUNTAKE Design Atelier) Designer: 斎藤あゆみ Print: 株式会社セキライズサヒ